



飯能ロータリークラブ会報

唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida

“ 奉仕を通じて平和を ”

RI会長
田中作次
2570地区ガバナー
鈴木秀憲

重点課題は奉仕の追求

第 2527 例会 2013.1.23

—— ロータリー理解推進月間 ——

天候 晴 (NO. 49-30)

会長 安藤泰雄 幹事 島田秀和

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 藤原君、細田(伴)君

例会場：マロウドイン飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8
☎(042)974-4000

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7
☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662
http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 安藤会長
- ・ソング それでこそロータリー
- ・米山記念奨学生 リュウ・ユウヒさん
- ・卓話 沢辺滯壺様

【会長報告】

1/17 飯能青年会議所の新年賀詞交歓会には、ご息子が今年度理事長ということで、島田幹事にご出席頂きました。丁寧なお礼状が参っております。

来週、日高RCの皆様がMUに来訪。銅像建立への寄付をクラブとしてしましたが、個人寄付を頂ける場合は来週お願いします。

リュウさんに今月の奨学金を贈呈します。

◎リュウさんご挨拶

あけましておめでとうございます。先日、修士論文を提出出来ました。無事卒業出来るよう祈りたいと思います。北京の空気が悪くなっておりますので就職で帰りたくありません。明日からまた頑張ります。

【幹事報告】

- ・市・農林課より 2/11 第8回森林文化講演会のご案内。ご参加よろしく申し上げます。

【委員会報告】

◎親睦活動委員会 服部君
京都旅行の仮申込みはお蔭様で30名超。3月の正式申込みの際、会費を徴収致します。

【セミナー報告】

◎新世代委員会 土屋(良)君
1/19 東松山・紫雲閣、第2回新世代部門セミナーが開催。新世代関係の活動についてグループに分かれて討議等致しました。

【出席報告】無断欠席なし 中里(忠)出席委員長

会員数		当日		前々回修正
全数	対象	出席数	出席率	出席率
54名	6名	43名	79.63%	92.59%

【M U】

1/19 (地区) 雨間君、土屋(良)君
1/22 (東京板橋RC) 中里(昌)君
(日高RC) 和泉君

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・沢辺市長様ようこそ！本日はよろしくお願ひ致します。卓話有難うございます。
細田(伴)君、中里(昌)君、新井君、矢島(巖)君
吉島君、田辺君、小崎君、安藤君
吉田(武)君、山川君、島田君、小川君
・早退 市川(洋)君、半田君、服部君
大野君、神田(敬)君

本日計 16,000円、累計額 711,610円。

◎30日例会当番は橋本、平沼会員です。

【卓 話】

講師紹介

安藤会長

年頭の挨拶

飯能市長 沢辺 滯 彦 様

あけましておめでとうございます。

皆様には歳末たすけあいの義援金等いろいろな形で市にご援助頂いている事、感謝申し上げる次第でございます。

政権が変わり、経済対策をやるというので大きな額の補正予算も組まれています。これが市町村に回ってきますが、真に効果が出ると良いと心から思っているところです。

飯能市もお蔭様でいろいろな事が実ってきました。これをベースに「元気のあるまちづくり」を目指して参りたいと思います。

今年はいよいよ山手保育所が4月に、西川材を使った図書館が7月にオープン。図書館利用者は“教養が趣味”という方が多いのですが、そうではなく、図書館へ行けば市民の皆さんの役に立つという場所にしたい。就職、法律、病気の関係書のリファレンスの充実、森林・自然保護関係の蔵書が近隣で一番というのを特長とし、高い教養から一般の事まで幅広い方にお出で頂けるものになりたい。

H27年までに「クリーンセンター」を建て替えます(100億円の事業)。今日、入札して業者が決まりました。

中心市街地活性化は「まちなかを元気にする会」での議論そして実践が、今年の明るい話題になるのではないかと思います。

「大河原工業団地」には総面積の38%に14社が進出。景気の悪い時期に多くの企業が来て下さったという事は、飯能の魅力と受け入れ態勢のレベルが高かった証拠ではないかと思っております。雇用、税金、まちなかでの買い物等に効果が期待出来るところです。

市制施行50周年から60周年までの10年の歩みは特徴的で、将来の方向付けという意味で内容が濃く、市内では今、これを検証中です。

「行政改革」10年前は小泉内閣で“官から民へ”と行政のスリム化の号令がかかった時。私も就任した時ですので「民間手法」「民間活力」を行政に取り込もうとしました。「指定管理〔者制度〕」で市立病院を東吾野医療介護センター診療所に移行。市立病院には年2億円かかり、ベッドの利用率も低かったのですが、今では一般会計からの持ち出しも無く、優秀な経営、地域の皆様から喜んでもらっています。さわらびの湯、なぐり特産品協議会、市体育協会、カヌー工房、かたくりの郷、市社会福祉協議会等、市直営だったものを民間に



ゆだね、それなりの成果を出してもらっています。

区画整理のやり方の見直し。家を一軒一軒どかすのではなく幹線道路だけ残し、建売り地域は区画外へ。現位置換地を採用、農家の人に喜ばれました。

区画外の下水工事を区画整理と同時施工。100年掛かるところを20年でやっており全国的にも注目されています。

国民健康保険も一般会計からの繰入金でH23年度「0」。職員も頑張っており、良い改革路線に乗っていると感じているところです。

職員定数もH17年707人(名栗村より58人)から現在637人。働き方を「縦割り」でなく「グループ制」とし、目標に向かって皆で力を合わせていこうというシステムにする事で70人を削減。「焼きいも係5人、アイス係5人、計10人」ではなく、「冬は焼きいも係、夏はアイス係の5人」と説明しながらやってきました。下水道受益者負担金は20年も取って来ませんでしたが、職員の努力で条例を改正、7億円の税収となりました。

「健全財政」をやり抜き、土地開発公社の借入金85億円を32億円に減らしました。予算があり入札すると残金が出ますが、余ったら全部、財政課へという事で約50億円を生み出す工夫をしてきた。予算を余らせる事は今は大歓迎。そこから借金を返しています。公共事業には「合併特例債」が非常に有効に寄与。補助金が半分、あと、市債の7割が交付税で、一般会計を使わずに仕事が出来ました。

「森林文化都市」は、まちづくりの精神的な支柱として市民の方も言って下さっています。林野庁「森林・林業再生プラン」では、飯能に木材集散地が作られるかどうかを期待しています。

豊島区等と付き合いようになり、いろんな事がよく分かりました。向こうから見ると飯能は魅力のある場所。「シティ・プロモーション」は役所の感覚だけでなく民間の発想を取り入れ宣伝していく。これを今年の新事業としたい。豊島区はマンガのまちでもあります。

「給付から助け合いの福祉へ」手当をもらう事だけを考える福祉では地域社会は成り立ちません。今、予算の3分の1は福祉です。それが活性化の足かせになる事も考えられる。これを出来るだけスリム化したい。困った人をダメにするのではなく、違う方法で福祉を充実させる。知恵を生み出す時代が来ていると思っています。

今後共よろしくお願い致します。飯能ロータリークラブのご発展をお祈り致します。

※次週の例会案内は省略。